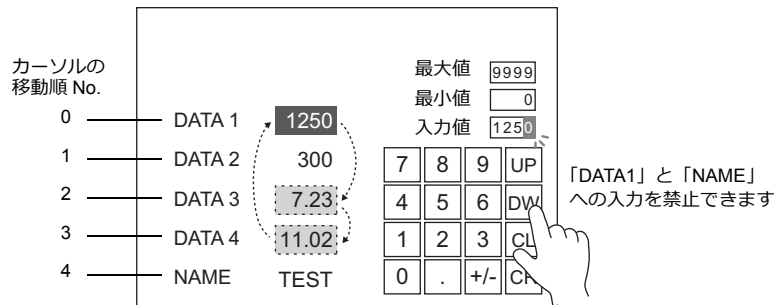


## 6.3 便利な機能

### 6.3.1 項目選択機能

#### 概要

特定の入力対象にカーソルを移動させることができます。この機能を「項目選択機能」と呼びます。スイッチを使用する方法と【入力カーソル移動制御デバイス】（外部）から指令する方法（P 6-39）の2通りあります。

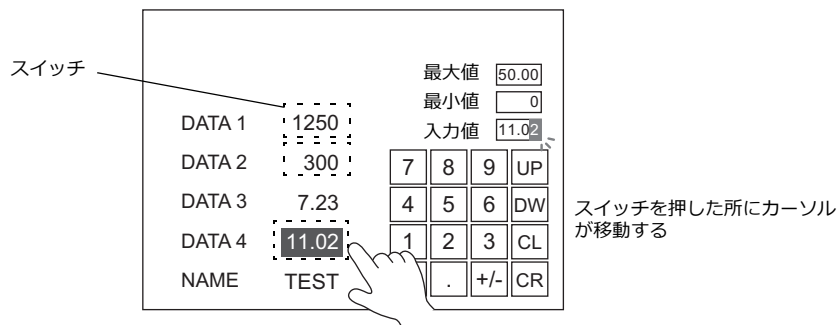


#### スイッチによる項目選択

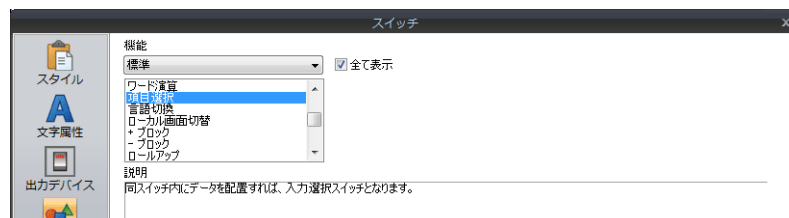
入力対象にスイッチ【機能：項目選択】を重ねて、特定の入力対象にカーソル移動することができます。

#### 設定手順

以下を例に手順を説明します。



1. スイッチ【機能：項目選択】に設定する



2. スイッチを入力対象に重ねて配置する

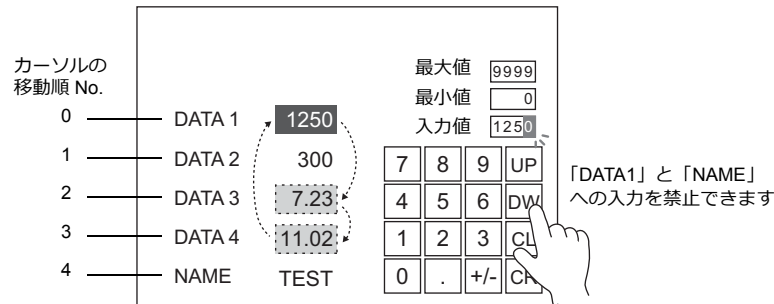
以上で設定完了です。  
入力対象を押すと押した箇所にカーソル移動します。

#### 注意事項

- ・ スイッチ【機能：項目選択】は、キーボードと同じ編集レイヤー（スクリーン、オーバーラップ ID 0～9）に配置してください。
- ・ キーボードは、【動作選択】 → 【入力先：データ表示】、【カーソルの移動方法：UP / DW スイッチ】の設定にしてください。

## 入力カーソル移動制御デバイスによる項目選択

入力対象を配置した場所に、[入力カーソル移動制御デバイス]を設定します。[入力カーソル移動制御デバイス]の各ビットのON/OFFで特定の入力対象にカーソル移動することができます。



### 設定箇所

入力対象の配置箇所によって、設定箇所が変わります。設定箇所に [入力カーソル移動制御デバイス] の先頭デバイスを指定します。

入力対象		入力カーソル移動制御デバイスの設定箇所
種類	設定箇所	
数値表示 文字列表示	スクリーン	[画面設定] → [スクリーン設定] → [入力] → [入力カーソル移動制御デバイス]
	ノーマルオーバーラップ	[ノーマルオーバーラップ] ダイアログ → [細かい設定] → [入力カーソル移動制御デバイス]
	マルチオーバーラップ	[マルチオーバーラップ] ダイアログ → [細かい設定] → [入力カーソル移動制御デバイス]
	コールオーバーラップ	[コールオーバーラップ] ダイアログ → [細かい設定] → [入力カーソル移動制御デバイス]
	グローバルオーバーラップ	[グローバルオーバーラップ設定] ダイアログ → [細かい設定] → [入力カーソル移動制御デバイス]
	データブロックエリア	[データブロックエリア] ダイアログ → [細かい設定] → [入力カーソル移動制御デバイス]
表形式データ表示	-	[表形式データ表示] ダイアログ → [細かい設定] → [入力カーソル移動制御デバイス]

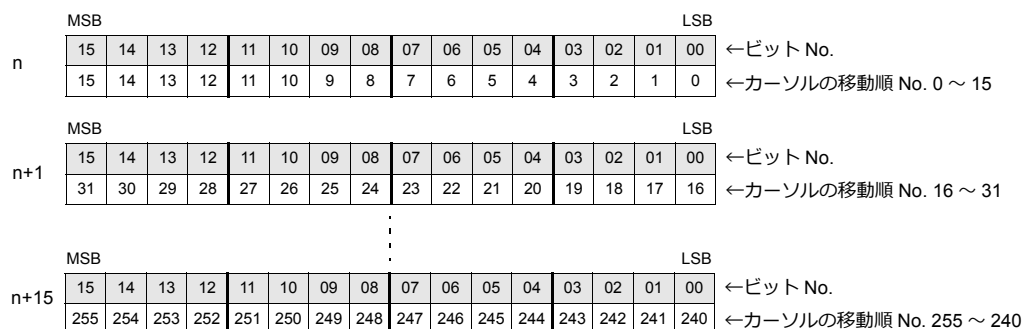
### 入力カーソル移動制御デバイスの内容

入力対象が数値表示 / 文字列表示または表形式データ表示によって、内容が変わります。各入力対象につき1ビット割り当てられます。各ビットのON/OFFでカーソル移動を制御します。

### 入力対象＝数値表示 / 文字列表示の場合

[入力カーソル移動制御デバイス] は、次のように [入力対象] の [カーソルの移動順] No. と関連付けされます。

- 0 : カーソル移動禁止
- 1 : カーソル移動許可

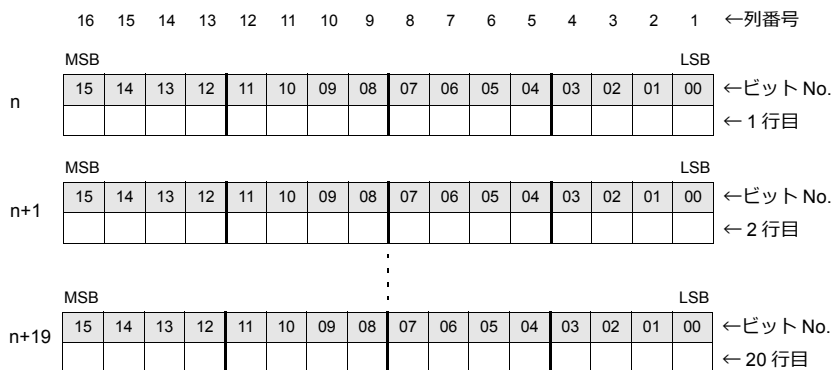


## 入力対象=表形式データ表示の場合

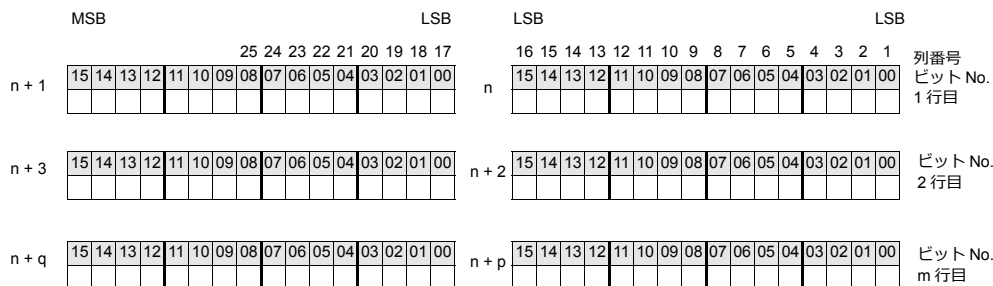
表形式データ表示の列数によって割付が異なります。

- 0 : カーソル移動禁止
- 1 : カーソル移動許可

- 1～16列の場合  
1～16列の場合は1行あたり1ワード使用します。  
総使用ワード数は、[行数]ワードです。



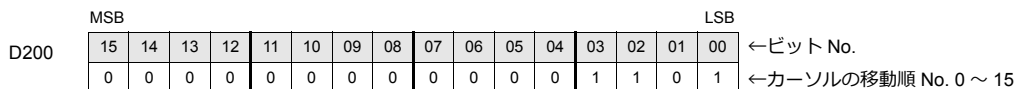
- 17～25列の場合  
17列以上の場合は1行あたり2ワード使用します。  
総使用ワード数は、[2×行数]ワードです。



## 使用例

スクリーンに入力対象の数値表示/文字列表示とキーパッドが配置されている場合を例に説明します。

1. [画面設定] → [スクリーン設定] → [入力] → [入力カーソル移動制御デバイス] を設定する 例 : PLC デバイス D200
2. 本体で、入力カーソル移動制御デバイス 0、2、3ビット目のみを ON する



カーソルの移動順 No. 0、2、3にカーソル移動します。

## 注意事項

表形式データ表示それぞれの [カーソルの移動順 No.] は、関係ありません。  
テキストのみの行・列であっても必ず番号が割り付けられます。